



地域間交流事業

北条のお米をぜひ私たちに…

コミュニティ安全対策室 伊部 秀男

地域間交流の積み重ねが災害時の助け合いに大きな役割を果たすなど安心安全の確保につながることから、災害に強い地域づくりを研究しているつくば防災科学技術研究所の支援により、災害時に於いて地域同士が相互に助け合えるような関係を築くことを目的に、現在コミュニティ安全対策室では数か所の地域との相互交流を進めております。

一月十六日に訪れた神奈川県藤沢市六会地区から自治会長以下八名が二月十三日に来柏されコミュニティに於いて手打ちそばや焼きもちのもてなしに「美味しい、美味しい」と何杯もお代りをされ、北条の味に大感激。
w q その後の各地区の自治活

動について意見交換を行い、今後の交流事業の進め方について話し合いました。

六会側から六会地区の消費者と北条の生産者がお互い顔の見える関係を築き、安心安全の農産品による経済交流を通じた、相互協力を行いたいとの提案がありました。

北条側からは子供たちの交流を通じ、相互協力出来ないかとの提案も出され、今後事業展開を前提として前向きに進めることで今回の交流会が終わりました。現在つくば市北条地区（同じ北条でもほうじょうですが）との交流も行っており日本の先端科学が集積している地区の子供たちとの交流も今後期待されております。

北条地区
コミュニティ会
振興協議会
TEL25-3355

ひろかわ かえで

原子力発電所と夢の森公園での体験学習会に参加して

二月二十五日、東京電力様企画による「柏崎刈羽原子力発電所見学と夢の森公園で行灯づくり体験会」をコミュニティ共催で実施しました。

コースは午前・発電所見学（3D）、展示、発電所構内、午後・夢の森公園で環境エネルギープログラムの一環として和紙による行灯づくりを体験しました。

参加者最高齢の久我一栄さん（児島・八十三歳）は、「ここに来るまでは原発に不安感があったが、現場で分かりやすい説明を聞いて不安感が消えた。百聞は一見にしかずですね」と話されました。

当日は晴天に恵まれ、参加者二十九名は、童心に返り、楽しい一日を過ごすことができました。（禮治郎）

大好き北小 ありがとう！

ずっとひまわりのような笑顔が咲きますように

北小ファイナルイベント

北条北小学校

三月六日には、北小と南小の合同閉校式が執り行われ、四月より北条小学校がスタートします。皆さまのこれまでのご支援に深く感謝するとともに、新生小学校への変わらぬご支援をお願いしたいと思っております。

さて、南小校舎で合同授業を行うため、昨年三月に校舎を閉じた北小ですが、四十二年間地域の拠点として愛され続けてきた校舎は、子どもたちの心にも深く刻まれていきます。そこで、北小校舎へ感謝の思いを伝える催しを次のように計画いたしました。

【内容】 北小は、ひまわりを北条に広げる活動に昨年度から取り組んできました。そのひまわりに関する絵を、子どもたちが一枚ずつ描きました。その絵を、メッセージとともに北小グラウンド脇フェンスに飾ります。

【期間】 三月六日（土）午後三時から三月十七日（水）皆さまからぜひ北小校舎へ足を運んでいただき、子どもたちの思いと北小の歩みを感じていただきたいと思います。
なお、子どもたちが一丸となって取り組み、皆さまからご協力をいただいたひまわり活動のリーフレットを、後日各ご家庭にお配りします。どうぞご覧ください。

